

第64回卒業証書授与式

日時：令和8年3月1日（日）

会場：体育館

Sec 01

雪解けも進み、例年よりも早い春の到来を感じさせる佳き日、64回目となる「卒業証書授与式」を挙行了しました。今年度も、来賓や保護者など多くの方々にご来場頂き、卒業生25名を無事歓送することが出来ましたこと、まずはお礼申し上げます。

今年度の3年生は、他の学年と比べて在籍は少数でしたが、残した功績は大きく、学習面は勿論のこと学校行事や部活動でも後輩達を力強く牽引し、学校全体を盛り上げてくれました。

卒業した3年生諸君の人生に幸多からんことを、職員一同願っています。

令和8年度卒業証書授与式 校長式辞

長い冬が続き、暖かな日差しを心待ちにする、ここ道北下川町に、一足先に春が訪れました。今日の佳き日、希望に満ち大きな可能性を秘めた若者たちが新しい人生へと旅立ちます。

本日、北海道下川商業高等学校第64回卒業証書授与式を挙行するに当たり、本校の教育活動に多大なるご支援をいただいております。下川町長田村泰司様をはじめ多くのご来賓の方々のご臨席と保護者の皆様のご列席を賜り、厚くお礼申し上げます。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございます。本校入学以来、三年間、時に喜び、時に心配しながら、温かく見守ってこられたことと思います。今までのご苦労に対し敬意を表するとともに、本校の教育活動へのご理解とご協力に、高い壇上からではありませんが感謝を申し上げます。

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんの三年間の努力と精進に対して、心から拍手を送ります。今、時代は世界的にも混迷を究め、とりわけ、わが国においても、ともすれば人としての生き方や価値観さえも変えようとする社会風潮があります。しかし、いつの時代にあっても、人としての生き方には不変なものがあります。その源流こそ、体育館に掲げられている校訓「自律」が示してくれています。皆さんのこれからの人生において、心の「北極星」として胸に刻んでもらいたいものです。

さて、折しも、今年はイタリアミラノ・コルティナでのオリンピックが開催されました。ご存じのとおり、本校の卒業生である伊藤有希選手、二階堂蓮選手が大活躍をしました。両名にとっては四年に一度の大会。出場に向けて、血と汗と涙が出る努力と、見る側にとってはどうい計り知れない様々な葛藤があったに違いありません。私は今回その二人の君たちの先輩からそれぞれ学ばされることになりました。そのことを皆さんに伝えるとともに、出立する節目にあたり、式辞の言葉とします。

二階堂選手には、「決して諦めないこと」と「感謝」の大切さについて学びました。彼は三年生の時、望んでいた実業団から推薦の声がかからず、大きな挫折感を味わいました。もう競技をやめようかとも考えていたようです。ですが、周囲の支えもあり、決して諦めることなく、地道に努力と工夫を繰り返して、六年経った今年度ようやく本領を発揮しました。そしてメダルを取った後のインタビューで涙声で彼が言った言葉はこれまで自分を支えてくれた人への「感謝」の言葉でした。

伊藤選手には、「利他の精神」と勝ち負けを超えた「人間性を磨く」大切さを学びました。伊藤選手は、22年北京大会で、高梨選手とともに混合団体のメンバーに入り、夢のメダルが目の前に見えていたが、高梨選手のスーツ規定違反で失格となって4位。試合後、泣きじゃくる高梨選手の背中をさすっていたのは伊藤選手でした。そして今大会、皮肉にもメンバーから外れた混合団体で日本が銅メダルを獲得しました。伊藤選手は雪辱を果たした高梨選手をまた抱きしめて一緒に泣いていました。試合後のインタビューでは「一人じゃなく日本チームを強くしたいと長年思ってた。だから今回のメダルラッシュが本当にありがたい」。さらには、仲間の活躍が自身にとってメダルに等しい価値があるとして、「オリンピックで金メダルを取る夢は達成できた」と言いました。その言葉に、他人を思いやる精神と勝っておごらず、負けても腐らず、常に技術とともに人間力を磨き続けている崇高な姿をみました。

その二人は、皆さんと同じこの学び舎で三年間過ごし、同じように商業の科目を学び、同じように販売実習会に懸命に取り組んできたのです。ですから君たちにも同様のすばらしい精神の芽が育まれているのです。その芽はまだまだ伸びます。高く高い枝となり、葉を茂らせ、皆さんが有意義な人生を歩むことを祈り、式辞といたします。



進路決定率100%達成

Sec 02

今年度の進路結果をもって、本校では**18年連続で全卒業生の進路が決定**しました。次年度も全生徒の進路実現に向けて、精一杯取り組んでまいります！

離任式

Sec 03

日時：令和8年3月24日（火）
会場：体育館



春は別れの季節。今年も転出する教職員を見送る時期が来ました。今年度は、4名の教職員が異動先へと旅立つこととなりました。下川商業高校勤務期間、お世話頂きました多くの方々に、この場をお借りしてお礼申し上げます。

芳賀 昭一 教諭 (60)

本校勤続年数 2年 退職

赴任当初より、商業科 科長としてお勤めいただきました。「販売実習会」や「インターンシップ」など商業科主管行事の運営や、検定試験事務の総轄など、商業高校である本校の要としてご活躍いただきました。

遠藤 謙太 教諭 (45)

本校勤続年数 6年 異動先 北海道旭川商業高等学校

本校では担任を3年間勤められた後、進路指導部長として生徒の進路実現のためにご尽力いただきました。また、バレーボール部顧問として、地域との連携の下練習環境を整備し、全道大会への出場を果たすなど結果を残しました。検定指導においても上位級合格生徒の輩出に多大なる貢献をされました。

菅野 俊一 教諭 (39)

本校勤続年数 8年 異動先 北海道虻田高等学校

本校唯一の数学科教員として8年間勤務されました。本校で自身初となる卒業担任を経験した後、令和5年度からは教務部長として、学習に係る全ての業務を監督・推進する重責を担ってきました。同時に校内ICT環境の整備・維持も担当するなど、多岐にわたって活躍されました。

成田 治男 教諭 (63)

本校勤続年数 1年 異動先 北海道苫前商業高等学校

再任用フルタイム採用で本校に1年間勤務いただきました。長い教員生活の中で蓄積されたビジネスに関する専門知識を活かし、短い期間ではありましたが本校商業教育発展に努めて頂きました。異動先の学校も本校と同じ規模の商業科単置校ですので、本校同様の活躍が期待されるところです。

4月行事予定

Sec 04

3	金	辞令交付式 転入職員打合せ 部長主任会議 職員会議	18	土	授業参観 PTA総会 運転免許取得説明会 進路説明会
6	月	防災安全点検	20	月	公務員模擬試験① 第1回土別翔雲連携委員会
8	水	着任式 始業式 身なり指導 大掃除 PTA役員会	21	火	1学年研修①
9	木	入学式会場設営 入学式 PTA入会式	22	水	1学年研修② 部長主任会議
10	金	身なり挨拶指導週間(～17日) HR役員選出 寮生指導 対面式・部紹介 自転車点検	23	木	尿検査第1次 2学年進路ガイダンス
13	月	身体測定 バス通生指導 自転車通学開始	24	金	交通安全講話 生徒総会 第1回ハイパーQU 7時間授業
14	火	1学年基礎学力テスト 入選委員会①	27	月	口座振替日
16	木	歯科検診 身分証明書撮影	28	火	職員会議
17	金	3学年進路ガイダンス	29	水	昭和の日